

(地 I 46)

平成 28 年 4 月 26 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会副会長

今 村



平成 28 年熊本地震における避難所（避難所、在宅等）で
ニーズに対応できていない事項の把握について

平成 28 年熊本地震につきまして、去る本年 4 月 18 日、横倉義武が代表を務める被災者健康支援連絡協議会（事務局長：小職、嘉山孝正全国医学部長病院長会議相談役）が開催され、被災地（避難所、在宅等）でニーズに対応できていない事項を把握し、取りまとめの上、国等へ対応を要請していくことにつき合意が得られたところです。

つきましては、ご多端の折誠に恐れ入りますが、貴会が被災地に派遣する J M A T（日本医師会災害医療チーム）にて把握した現地の情報を、別添の用紙にご記入の上、本会事務局（地域医療第 1 課）にお送りいただきますようお願いいたします。（用紙は、都道府県医師会事務局メーリングリスト（prefmed@po.med.or.jp）にて送信しております）

被災者健康支援連絡協議会 被災地（避難所、在宅等）でニーズに対応できていない事項の把握

地域・避難所名

都道府県医師会名： _____

(ご担当者 _____)

・各団体が被災地に派遣しているチーム、担当者からの情報を共有（地域単位：可能な場合は避難所単位）

項目	程度	備考
例) (1) 不足物資（医薬品、医療機器、水、食料、特定用途食品その他）	熊本市〇〇区の△△避難所に、精神科医師1名必要	認知症〇〇名避難 DPATは他所の支援で対応困難
(1) 不足物資（医薬品、医療機器、水、食料、特定用途食品その他）	物資の種類、おおよその数	必要な人たち（乳幼児〇〇名など）
(2) 衛生環境（粉塵、トイレ、感染制御など）	環境上、懸念される事項など	
(3) 食生活、栄養摂取の状況		

<p>(4) 避難所を巡回・支援している役人の状況（疲弊、人員不足など）</p>	<p>事務、保健師など</p>	
<p>(5) その他、避難所の課題（支援がなかなか行われない地域、支援空白地域の把握はできているかなど）</p>		
<p>(6) 在宅での課題（在宅要配慮者の把握、停電地域の在宅機器など）</p>		
<p>(7) その他課題</p>		

お問い合わせ先：日本医師会地域医療第1課（Tel 03-3942-6137、Fax 03-3946-2140、chiiki_1@po.med.or.jp）